



上田薬剤師会 発

薬剤師の

ちょっと薬に立つお話

YAKUNI
TATSU
OHANASHI
VOL.88

Vol.88

地域の皆さんの健康のために
さまざまな活動をしている
上田薬剤師会から、
健やかな毎日をつくるために
ちょっと役立つお話を
お届けしていきます。

毎月「第2土曜日」の
週刊うえだを、どうぞお楽しみに!

新年のごあいさつ

一般社団法人 上田薬剤師会
会長 飯島 康典



新年あけましておめでとうございます。いつも、この「上田薬剤師会発 薬剤師のちょっと薬に立つお話」をお読みいただき、ありがとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中の人々にさまざまな影響がありました。当会でも、予定していた行事や講演会などのほとんどが中止や延期となり、思うように活動ができない厳しい一年でした。

ダーウィンは、「この世に生き残る生き物は、『変化に対応』できる生き物だ」という考えを示したとされます。我々薬剤師も目まぐるしく変わる時代の流れに対応できるよう努力していかなければなりません。

今年もまだまだ収束の見込みが立ちませんが、新型コロナウイルスに対しては「正しく恐れ」ながら、また十分な感染症対策をしながら、私たちが地域の皆様に「身近で信頼される薬剤師」として認められるよう、活動を継続していきたいと考えております。

皆様の生活や健康にちょっとでもお役に立てる情報を、この紙面を通じて引き続き発信してまいります。本年もどうぞご愛読のほど、よろしくお願い申し上げます。



はい、お答えします!

Q. 処方された薬は、家の薬箱に入れておいてよいのでしょうか。良い保管場所などがあれば教えてください。冷蔵庫に入れた方がよい薬などあるのでしょうか? (上田市本郷・38歳・女性)

A. お薬はなくさないように一か所にまとめて保管することが大切です。そのために薬箱を活用することは良いことです。高温・多湿・直射日光を避け、子供の手の届かないところに保管しましょう。お薬の中には冷蔵庫に保管しなければならないものもあります。詳しくはかかりつけ薬剤師・薬局にご相談ください。

Q. 子供が風邪をひくたびに病院に行って薬を出してもらいますが、いつも5日分とかです。同じ薬を10日分いただくとかできないのでしょうか? (上田市中央・45歳・男性)

A. 一般的な風邪の場合、4~5日以上症状が続く場合は受診した方がよいと思われます。初期には風邪に見えても違う病気だったり、こじらせている可能性もあります。特に子供の場合は症状や体重により薬や服用量が異なりますので、再度間を空けずに受診してください。かかりつけ薬剤師・薬局にご相談ください。

このコーナーでは毎月、
読者の方からの質問に薬剤師がお答えします。
お薬に対する素朴な疑問、質問、なんでもお寄せください。

宛先
〒386-0012 上田市中央6-3-41
週刊うえだ「はい、お答えします!」係
メール weekly-ueda@po3.ueda.ne.jp
FAX 0268-22-6201



特集

新年に改めて考える

薬剤師の役割

上田薬剤師会の会員薬剤師・薬局は、患者さんと一緒に悩み、一緒に問題を解決する、「身近で頼れる薬剤師」を目指します。

そのため、地域の皆さんに望まれていると思われる事柄を自ら考え、行動するために、地元医師会、歯科医師会、市町村、自治会などとの連携を積極的にはかります。

また、これまでも実施してきたさまざまな地域貢献活動のほか、

- 調剤事例研究会・薬剤管理ワークショップ
- 衛生管理マニュアルの策定
- 薬局覆面調査の実施

など、薬剤師・薬局自らの「質」を高めるため、さまざまな事業を継続してまいります。

こんな私たち 薬剤師 を頼りにしてください!

~次号以降で詳しく解説します~

薬を飲む不安に寄り添います

服用期間中、継続的に患者さんをフォローします(服薬フォロー)。特に初めて飲むお薬や、種類や量に変更された際など、患者さんの不安に寄り添い、支援します。

24時間いつでも対応します

薬の副作用や飲み間違い、服用のタイミング等に関して、24時間電話などで相談に対応します。

ご自宅までうかがいます

在宅医療、在宅介護の患者さんの自宅にうかがい、薬剤を提供・管理。多職種で連携して対応します。

高度薬学管理をします

がんや糖尿病など高度な管理を必要とする患者さんには、専門性を持った薬剤師が薬学管理をします。

医療機関と連携して効果を最大限に

薬物治療に関連する問題を薬剤師が評価し、患者さん固有の情報を収集・分析して医師や患者等に伝達(薬剤レビュー)。リスクの最小化と効果の最大化を図ります。

OTC医薬品、サプリメント、健康食品等を適切に供給

地域の皆さんの健康状態や症状などを情報収集し、適切な情報提供を行いながら商品を提供。セルフメディケーション向上をサポートします。

地域の健康教育に貢献します

■ 公衆衛生の啓発

感染症予防対策など公衆衛生の向上、薬物乱用防止、医薬品等適正使用の向上のため、地域の皆さんを対象とした講習会等を実施します。また、学校薬剤師としても活動します。

■ 健康相談に乗ります

市販薬や健康食品に関することから、介護や食事・栄養摂取に関することまで、幅広く地域の皆さまの相談に応じます。

■ 健康相談会を開催します

薬の相談会、栄養相談会、各種疾患の予防教室などを開催します。



健康な暮らしのこと、なんでも
かかりつけ薬剤師・薬局にご相談ください!!

◀上田薬剤師会「認定基準薬局」の目印、グリーンクロス看板

